

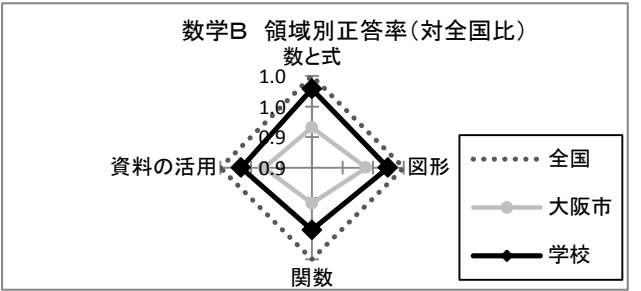
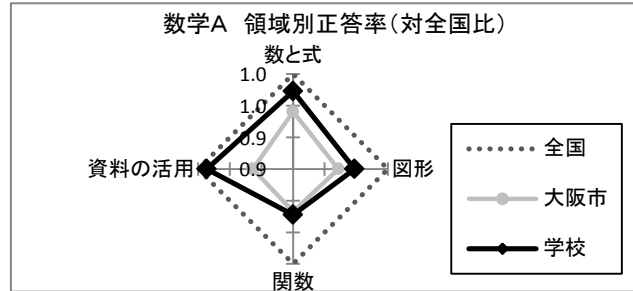
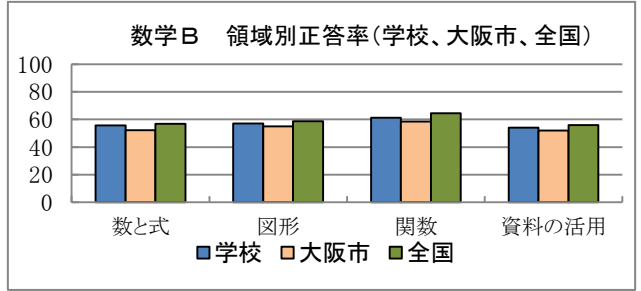
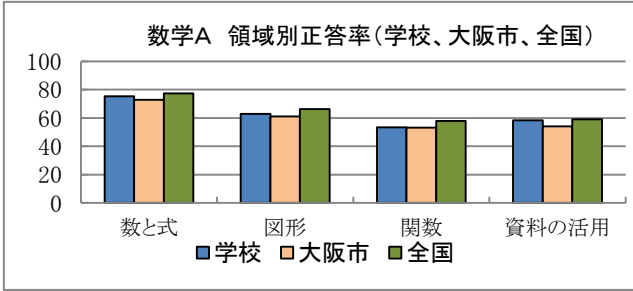
【数学】

結果の概要

数学A、数学B共に、平均正答率は大阪市を上回っているが、全国をわずかに下回っている。「数と式」領域の平均正答率が全校との差が少なく、習熟度熱少人数授業、T、Tの個に応じたきめ細やかな学習の効果があらわれたと考察される。

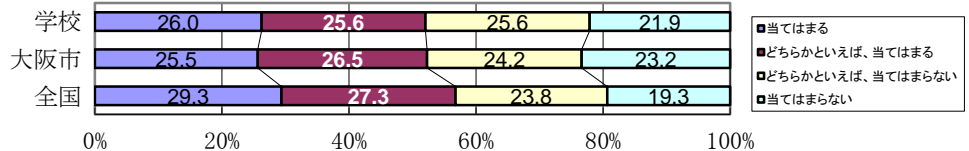
A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と式	12	75.3	72.8	77.4
	図形	12	62.9	61.2	66.4
	関数	8	53.5	53.2	58.0
	資料の活用	4	58.3	54.0	59.1

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と式	3	55.7	52.1	56.9
	図形	5	57.1	55.0	58.6
	関数	5	61.3	58.5	64.4
	資料の活用	2	54.0	51.9	55.9

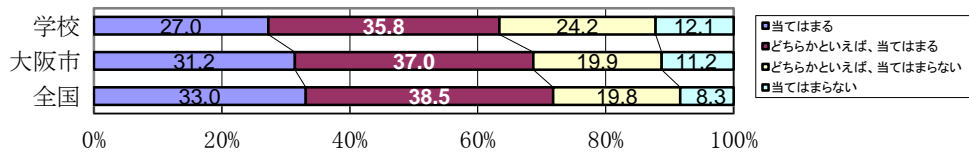


数学に関する「生徒質問紙」

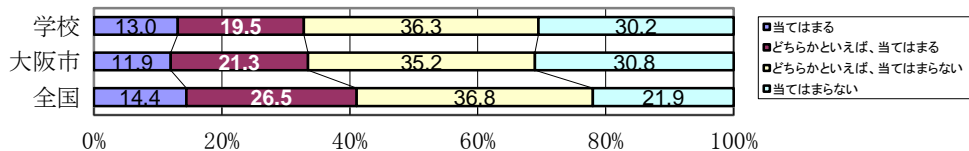
62
数学の勉強は好きですか



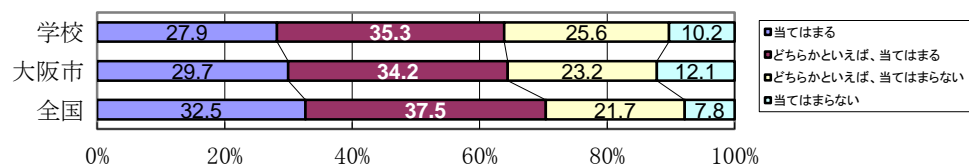
64
数学の授業の内容はよく分かりますか



67
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



70
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



成果と課題

「数と式」領域の平均正答率が全校との差が少なく、習熟度熱少人数授業、T、Tの個に応じたきめ細やかな学習の効果があらわれたと考察される。数学B「図形」「資料の活用」の平均正答率が、全国との差が特に少なくICT機器活用による授業研究による効果が表れたと考えられる。しかし、生徒質問紙の「数学の授業は好きですか」で、「当てはまる」と答えている生徒が少なく、より楽しく、わかりやすい授業の工夫改善が必要である。

今後の取組

ICT機器を活用し、より分かりやすい授業研究を進め、数学が好きな生徒を増やす。また、家庭学習の充実を図り、反復学習することにより学力の定着を図る。